



とび出そう 自然の中へ 野に山に

夜明けの星

団 NEWS No.281

日本ボーイスカウト川崎第46団

広報委員会発行

「新年度を迎えて」

団委員長 久保井 基隆

今年もまた新年度が始まりました。各スカウトの皆さん、保護者の皆さん、入隊・上進おめでとうございます。本年度は平成最後の年ということで、いつもはスカウト諸君にスローガンを募集するところ、団委員長の“おもい”をスローガンにして下さいという依頼でスローガンを考えさせてもらいました。いろいろと推敲した結果、自然という魅力的なフィールドにどンドン繰り出してダイナミックで時にはアグレッシブな活動をしてもらいたいという気持ちを込めて、「とび出そう 自然の中へ 野に山に」というスローガンにさせていただきました。



自然の中というのは、ただそこに居るだけで、すがすがしく気持ちを穏やかにしてくれる空間であると共に、いろいろな事を体験、経験できる空間でもあります。ボーイスカウトでも教育法の要素の一つにもなっているところです。自然はもちろん生きています。木が、土が、水が、生き物が、自然の中にある全てのものが、生き物達が、互いに関わり、融通し、協調して自然そのものが成り立っているのだと思います。その中で五感をフル活用し自然を体感する事や、自然と協調しながら生活してみる事で、自然を実感すると共にそのすばらしさを再確認できるのではないのでしょうか。自然は我々にとって大いなる教師なのかもしれません。

さて、詩人であり童謡作詞家でもあるサトウハチローさん、「リンゴの唄」の作詞者と言えば、年配の方には馴染みがあるだろうか。そのサトウハチローさんが1966年4月6日から1969年4月2日までNHK総合で放送されたこども番組である「あすは君たちのもの」に出演していた。番組としては、日本各地で明るい未来をめざしてひたむきに努力している少年少女を紹介するドキュメンタリー番組である。その中で毎回、テーマにふさわしい詩をサトウハチローさんが披露していたそうだ。それらの詩は

編集され番組タイトルと同じ名前で発刊されている。その中から2つの詩を紹介したい。

●「からだでおぼえたものははなれない」

手でおぼえる 足でさとる 目にやきつける
胸にしみこます

ボーイスカウトの仕事は
すべてこれだ これなんだ

水くみひとつにも上手下手がある
米をとぐのも めしをたくのも
玉ねぎをきざむのも ジャガ芋の皮をむくのも
遊び半分では できない できない

なれない仕事で 涙ぐむと 母の顔が浮かぶ
力のいる仕事で へたばると 父の笑顔が見える

われとわが身をはげましても
情けなさがあふれてきて あたりの風景に
もやをかける
のりこえろ のりこえろ
からだでおぼえたものは
からだからはなれない はなれない

手でおぼえる 足でさとる 目にやきつける
胸にしみこます

満足につとめを果たした夜の
キャンプファイヤーの火はすばらしい
静かにじっと眺めていると
さわやかな
ほんとうに さわやかな虫の音が
首にしみこむ 背中にしみ通る

●「少年よ 小さくかたまるな」－冒険と夢－

森がある 高い木がある
のぼりたくなる 山がある
洞窟がある 中へはいりたくなる
地図がある
ひたいをよせて 指でたどる
仲間と歩きたくなる

これが少年の心なのだ
ものに向かっていく少年の心
その心こそ大切なのだ
みみずばれ キリキズ たんこぶ
赤いクスリ 白いホータイ
思い出の中にうかびあがる たのしい色
少年よ
空気をかみしめながら
自分をためし 自分と戦え
少年よ
小さくかたまるな 動きがとれなくなる
のびる手がある 動く足がある 使いたくなる
すどい目がある 敏感な耳がある
ものを見きわめたくなる
冒険がある
夢がある
願いをかなえたいくなる
少年よ
その中におもいきりひたり
その日その日の生活(くらし)に
すばらしい弾力をつける

冒頭に本年度のスローガンを紹介し、もっと自然にとび出して、いろんな経験をして下さいと話しました。そして、私の言いたい事を詩にしてくれていると思い、サトウハチローさんの2つの詩を紹介させてもらいました。

「手でおぼえる 足でさとり 目にやきつける 胸にしみこまず」五感をフル活用して経験したものは体から離れない、この詩にあるように食事の支度、火の焚き付け、後片付けなどはもちろん、それらと共に心にしみ込んだものも体から離れないのではないかと思います。時間を守るための準備の大切さ、不便な環境を便利に変えていこうとする気持ち、それらをするための技能の大切さ、そして技能向上に向けた努力する気持ちなど、こんな事も同時に体にしみ込み、体から離れないのではないのでしょうか。そういう教育こそがスカウティングではないかと私は思うのです。「ちかい」と「おきて」の実践と言われ続け、その意味を考えながら日々少しでも実践していく、そういう経験を通して少しずつ少しずつ体にしみ込んでいくのだと私は思います。自然はすばらしい、スカウト達もきっとそう思っていると思います。是非、指導者の皆さんは出来るだけ自然の中に子供達を導いてやって下さい。そして、子供達が経験した事の無いようなすばらしい体験をさせてあげてほしいと思います。

さて最後となりますが、当46団のスカウト数は減少の一途をたどっております。ご存知の様にボーイスカウト活動がボーイスカウトらしく活動するた

めには、一定のスカウト数が必要となります。今年も団をあげて組織拡張活動を推進していく予定ですが、皆様のご支援が必要でございます。OBSの皆様や賛助会の皆様も含め、何卒宜しくご協力を賜りたいと思います。本年度も団の皆様と共に「社会に役立つ子供たちの育成」に向け精進したいと考えておりますので何卒倍旧のご支援の程重ねて宜しくお願い致します。

以上

行事・イベント

菊スカウト章授与式 (2019年4月14日)

4月14日(日)16時00分から、三田小学校体育館にて菊スカウト章授与式が行なわれました。川崎地区副コミッショナーから仲井スカウトに菊スカウト章が授与されました。



<仲井スカウト受賞コメント>

この菊賞は色々な人の協力があって取れたものでした。菊の進級科目を活動に取り入れてくれた隊長や、進級に必要な班会議に参加してくれた班員達、そして菊賞を取るために手伝ってくれた両親のおかげでもありました。周りの人の協力に感謝し、菊スカウトとして恥じぬ行動をしたいと思います。そしてこれからは準賞を目指して、スカウト活動に励んでいきたいと思っています。

2019年度入隊式・上進式 (2019年4月14日)

4月14日(日)16時30分から、三田小学校体育館にて入隊式・上進式が行なわれました。団委員長から2019年度のスローガン「とび出そう 自然の中へ 野に山に」が発表されました。上進するカブスカウト、ボーイスカウトが「やくそくとさだめ」「ちかいとおきて」を大きな声で宣言しました。上進するベンチャースカウトは両親に手紙を読み上げました。「弥栄(いやさか)」の掛け声で上進スカウトを祝福しました。



2019年度育成会総会（2019年5月6日）

5月6日（月）13時30分から、生田中学校特別創作活動センターにて育成会総会が行なわれました。



編集後記

平成が終わり、令和が始まりました。令和第1回目の夜明けの星発行です。新しい時代の始まりとともに、新しく楽しい紙面をお届けしていきたいと思えます。

<広報委員>

江川 豊、廣川 淳二、荒川 泰一

川崎46団のHP

<http://www.bsk46.com/>

